

鳥取大学地域学部政策学科 「地域調査実習」現地報告会

鳥取大学地域学部地域政策学科では、2年生全員が一年間を通して、地域住民の方々や行政をはじめとする諸団体の皆様から、地域の現状や諸課題について学び、地域の未来を考えるための「地域調査実習」を実施しております。本年度から、八頭町において地域の様々な取り組みについて学ばせていただいております。

この度は、今年度の実習の成果を学生達から皆様にご報告させていただくために、下記の要領にて「地域調査実習」報告会を開催いたします。ご関心のおありの方は、是非ご参加ください。

【当日の報告テーマ】

1. 八頭町の現状と政策課題

- ①八頭町における生活行動の現状と課題
- ②住民にとっての地方創生
- ③ふるさと納税の活用を考える ～八頭町の現状をふまえて～
- ④八頭町にみる農村としての現状と展望
—「八頭船岡農場」と「田中農場」の事例から—
- ⑤八頭町民が主役のまちづくりに向けて —「自治基本条例」から考える住民自治

2. 地域の動きに価値を見出す

- ⑥活性化団体の活動から見る若桜鉄道各駅の価値と課題
- ⑦大江ノ郷をめぐる動き
- ⑧水口集落内の人形芝居文化と継承への課題
- ⑨母さんのご褒美 —女性たちのおしゃべりがうみだすもの—
- ⑩バトンをつなぐ地域の絆
—地区の運動会がつなぐのは過去と今と、そしてこれから—

参加無料

どなたでもご参加いただけます



日時：**平成30年2月10日（土）** 13時00分～16時10分

○場所：八頭町中央公民館 1F・大ホール

（鳥取県八頭郡八頭町宮谷80）

○主催 鳥取大学地域学部地域政策学科

○共催 八頭町

○お問い合わせ

鳥取大学地域学部地域政策学科（馬場）

電話：0857-31-5098

Eメール：kbamba@rs.tottori-u.ac.jp



報告会の様子